

膀胱炎の三二知識



膀胱炎といってもさまざまです

POINT

膀胱炎には、主に若い女性に多い「急性単純性膀胱炎」と男女の区別なく中高年に多い「慢性複雑性膀胱炎」があります。

◆急性単純性膀胱炎

20～30歳代の若い女性に最も多く発症し、閉経前後の中高年期の女性にも比較的多い膀胱炎です。

過労、体の冷え、睡眠不足、排尿の我慢、性生活などが誘因となり発症します。

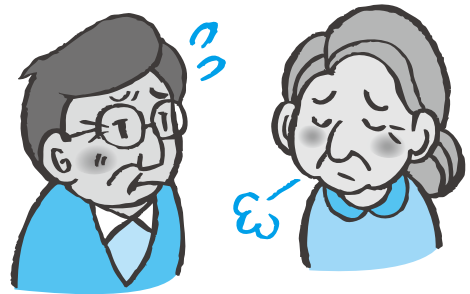


◆慢性複雑性膀胱炎

尿路のなんらかの病気（前立腺肥大症、尿路結石、尿道狭窄、膀胱腫瘍など）が原因で発症する膀胱炎です。

これらの病気を治療しない限り、治りにくく治療は長期化します。

男女の区別なく見られるのが特徴です。尿路の先天性奇形を有する幼小児でも発症します。



◆間質性膀胱炎

原因がいまだに不明で治りにくい膀胱炎です。膀胱鏡で見ると膀胱に潰瘍や点状の出血が見られ、膀胱痛が特徴的です。中高年の女性に多く、男性や若い人でも発症します。

それでは、通常成人女性に多く見られます
急性単純性膀胱炎について説明します。



膀胱炎が起こる原因は？

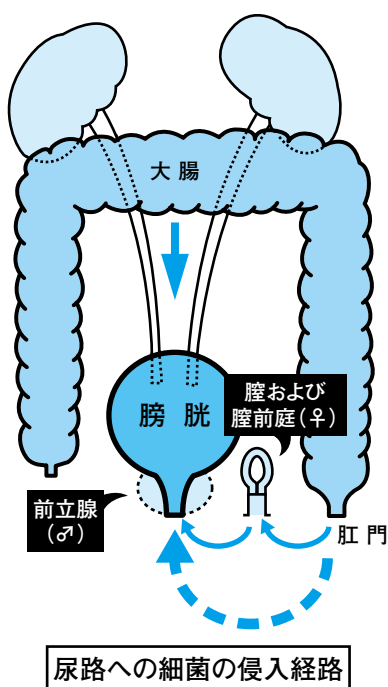
POINT

急性単純性膀胱炎は、膣や肛門の細菌（主に大腸菌）が膀胱内で繁殖し、粘膜に炎症を起こす病気です。

また、体の抵抗力が落ちているときに発症しやすくなります。

◆なぜ女性に多いの？

膀胱炎は、大腸菌などの細菌が尿道を通して膀胱に入り込むことで起こります。女性は男性に比べて尿道が短く、膣や肛門との距離が短いため膀胱炎を起こしやすいと考えられています。また、細菌の侵入を促進する要因として性生活が深く関与していると考えられています。



膀胱炎の発症には体の状態も関係しています。

- ・過労
- ・睡眠不足
- ・かぜ

など体の抵抗力が落ちているときに発症しやすくなるので注意が必要です。

● 急性単純性膀胱炎の原因菌 ●

原因菌の多くは大腸菌で、全体の約80%を占めています。その他ではブドウ球菌属、プロテウス属、肺炎桿菌などの菌が原因菌となります。また夏場の女性の膀胱炎では、ブドウ球菌属の占める割合が高くなります。

症状はどのようなものですか？

POINT

膀胱炎は排尿痛、頻尿が主な症状です。

排尿痛

頻尿



急性単純性膀胱炎では、排尿痛、頻尿が主な症状です。その他には尿混濁、血尿、残尿感、下腹部不快感、鈍痛、尿漏れなどもみられます。通常発熱はありませんが、38℃を超える発熱、悪寒、腰痛がある場合は急性単純性腎盂腎炎が疑われるので、すぐに先生にご相談ください。また、比較的似た症状がある病気には、過活動膀胱（OAB）がありますので、必要に応じて検査を行います。（過活動膀胱の詳細は次ページ参照）。

膀胱炎との鑑別が必要な疾患

POINT

急性単純性膀胱炎と症状が類似し、鑑別が必要な疾患の1つに過活動膀胱（OAB）があります。

◆過活動膀胱

過活動膀胱（OAB）は、尿意切迫感を必須とする症状症候群で、通常は頻尿・夜間頻尿を伴い、時に切迫性尿失禁を伴うこともあります。

過活動膀胱の主な症状

尿意切迫感

急におこる抑えきれないほどの強い尿意。



頻尿・夜間頻尿

昼間・夜間に回数が多いと感じる。



切迫性尿失禁

トイレまで間に合わず漏らしてしまう。



治療はどのようにされるのでしょうか？

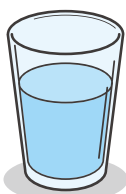
POINT

急性単純性膀胱炎は抗菌薬を一定期間服用し、十分な水分摂取を行うなど日常生活に注意することで、通常の治療期間は数日～1週間となります。



適切な抗菌薬の服用

十分な水分摂取

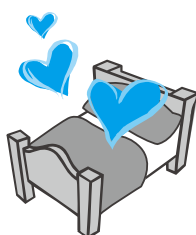


下半身の保温



刺激性の食べ物や
飲み物のとりすぎ

香辛料
アルコール
炭酸飲料



性生活

治療の基本は、原因となる細菌に対して有効な抗菌薬の服用です。
医師の指示を守り、決められた期間きっちりと服用しましょう。
また水分を多くとり尿量を増やすことで、膀胱内で増殖した細菌
が洗い流されやすくなります。

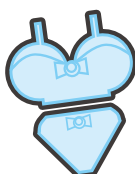
再発を予防するには？

POINT

膀胱炎は再発しやすいため、治った後も適切な予防を心掛けましょう。

● 次のような点を日常生活の中で注意を払っていると予防効果が得られます ●

1 通気性の良い下着を着用すること。



2 生理期間中は清潔に保つ。



3 排尿後は前から後に拭く。

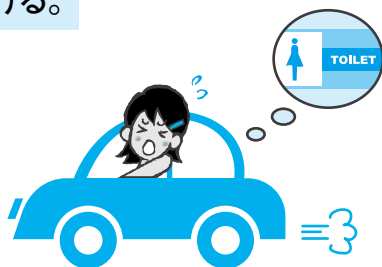
4 排尿を我慢しない。



5 性交直後は排尿を心掛ける。



6 長時間トイレに行けない状態を避ける。



● 膀胱炎と再発 ●

女性の膀胱炎では、約4割の方が1年以内に再発を繰り返すと言われています。これには再感染が原因となる場合と、治癒が不完全な場合（不適切な薬剤の使用や服薬日数の不足等）があります。再発防止のためには適切な予防対策を行うとともに、処方された抗菌剤をきちんと飲み切ることが重要となります。

膀胱炎の

Q

&

A

その1

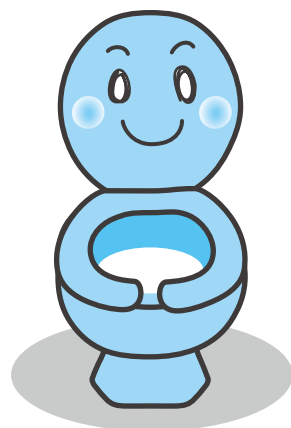


Q. 排尿は一日何回くらいが正常ですか？

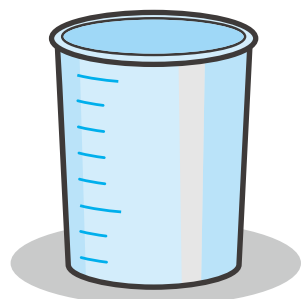


A. 習慣的には、日中の排尿回数が7回以下であれば正常と考えられています。最近では自分がトイレに行く回数が多いと感じれば頻尿とされますが、目安としては8回以上でしょう。頻尿には昼夜間型、昼間型、夜間型があり、病気の性質によって異なります。なお、就寝後翌日の起床までに1回でもトイレに行けば夜間頻尿と定義されています。

細菌性膀胱炎では昼夜間型ですが、神経性頻尿では昼間型です。



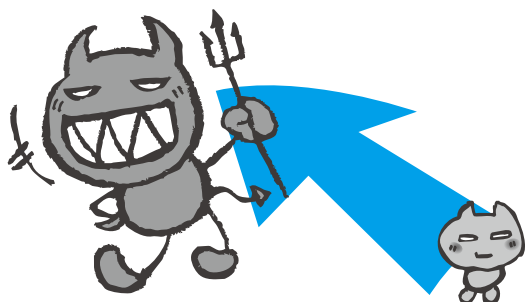
Q. 女性の尿は一般に濁っていると いわれますがなぜですか？



A. 女性の尿は膣や肛門を伝わってくるので、膣からの分泌物や細菌が混入してしまい、尿の透明感が失われてしまうからです。

したがって女性での採尿は導尿といってカテーテル(管)で膀胱から直接取るか、中間尿といって排尿途中の尿を取るかいずれかの方法で行わないと正確な診断ができません。

Q. 膀胱炎をおこす細菌はどこから来るのですか？



A. 尿道・膣・肛門などから来ます。原因となる細菌群は常在菌としていつも存在していますが、人間のからだ側の抵抗力が低下すると、細菌群が一方向的に強くなり、膀胱炎を起こす病原菌に変貌するのです。

Q. 膀胱炎になったら水分を多く取ると良いと聞きますが？



A. 水分摂取で排尿を促すことは膀胱内で繁殖した細菌を洗い流す効果があります。その結果、細菌の数が減少し炎症の進行を止めることができる訳です。膀胱炎になるとトイレが近くなり、排尿痛のため逆に水分摂取を極端に制限する人がいますが、ますます膀胱炎を悪化させることになるので注意して下さい。



Q. おしっこを我慢すると膀胱炎になるって本当ですか？



A. 排尿を我慢すること自体が膀胱炎の直接の原因にはなりませんが、膀胱にたまった尿は侵入した細菌を増やす格好の条件となります。なるべくおしっこは我慢せず、膀胱はいつも空に近い状態に保つことが大切です。

膀胱炎の

Q

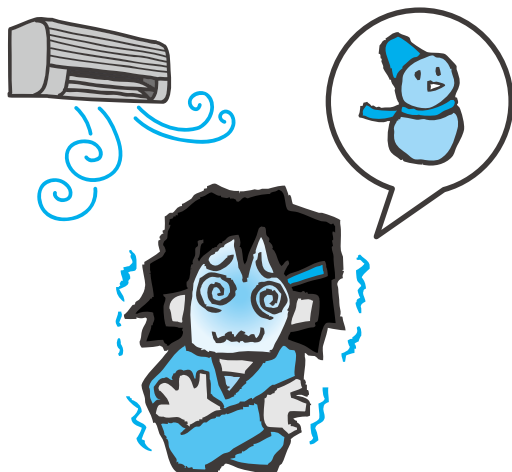
&

A

その2



Q. ずっと冷房のあるところにいると
膀胱炎になりやすいのでしょうか？



A. 冷えると血行を悪くし膀胱炎の間接的な原因となります。冷房だけでなく海水浴やその他のマリンスポーツも身体が冷えるので注意が必要です。

Q. 神経性頻尿はなぜなるのでしょうか？



A. 「病は気から」という諺がありますが、神経性頻尿は何らかの精神的ストレスによって生ずるものです。ストレスの内容はさまざまですが、家庭や会社(学校や職場など)での人間関係のトラブルや心理的負担によるものが多いようです。



Q. 男性の急性膀胱炎はきわめて稀と聞きますが？



A. 男性で膀胱炎様症状が見られたら、まず前立腺炎を疑います。
尿道内の細菌は膀胱に到着する前に前立腺で炎症を引き起こすことが多いのです。
膀胱炎と異なり急性前立腺炎では発熱を伴います。



Q. 子供と老人の膀胱炎は成人女性と発生原因が違うのですか？



A. 性交渉など直接的な原因とは別の機序として、子供と老人の膀胱炎は免疫力の低下、尿道や膀胱の発育不全や形態異常、尿道狭窄による排尿障害などが膀胱炎の発生に関係していると考えられています。そして老人では尿路の何らかの病気が原因となる慢性の複雑性膀胱炎になる傾向があります。

Q. 膀胱炎を繰り返していると膀胱がんになることもあるのですか？



A. エジプトで多く見られる寄生虫感染による膀胱炎を除いては、膀胱がんとの関係は証明されていません。一方、反復する膀胱炎には膀胱機能障害、膀胱結石、膀胱がんなどが原因である場合が少なくありませんので、泌尿器科専門医の診察を受けて下さい。



施設名

キョーリン製薬

管理用コード



作成年月: 2023.10
ICBC 0001